

www.taiyounofuta.con

「史上最悪の危機」を迎えた日、 官邸内で何が起きていたのか。 当時の閣僚たちが実名で登場する究極の ジャーナリスティック・エンターティンメント



幼馴染の建斗とともにイチF で作業するが…

福島原発事故から5年。関係者による著書、様々な報道番組やドキュメンタリー、調書の公開など…当時の状況が解明されたかのように見えつつ、 人々の記憶は早くも風化され真相が明らかにされることなく原発事故問題の幕が引かれようとしている。

本作品では数多くの報告書や資料の分析をすると共に、事故対応当事者であった政治家や現役新聞記者、被災地である福島での直接取材を敢 行。5年という年月が経った今だからこそ伝えられる、「あの日」をセンセーショナルにあぶり出す。

見実に欧連り **る** ホリテ 1711

難することを勧められ 不安になる。

東日本大震災~福島原発事故が起きた3月11日からの5日間。原発事故に迫る新聞記者をキーパーソンとし、当時菅直人政権であった官邸内、さらに東 京や福島で暮らす市井の人の姿を対比させて描く本作。

菅内閣の政治家は全て実名で登場させ、原発事故の経過や対応を事実に沿って丹念に追う。情報が錯そうする中、極限の緊張状態にあった人間ドラ マを描き、官邸内部のリアルな様子を浮かび上がらせる。原発と共に生きて来た福島の人々の葛藤、事故発生によって翻弄されるマスコミや東京に暮らす 人々を切り取ることで原発と日本人の姿を俯瞰的に捉えている。情報収集に奔走する記者・鍋島役には数々の映画・ドラマ・舞台で活躍し日本映画界では 欠かせない存在で映画初主演の北村有起哉が、菅直人役にはベテラン俳優三田村邦彦がそれぞれ扮し作品に重厚感をもたらしている。



7月16日(土)より公開

特別前売鑑賞券 1.400円(202)にて絶賛発売中! 素当日一般1,700円(税込)の4

